

うれしのししゃかいしほんそうごうせいびけいかく
嬉野市社会資本総合整備計画

(防災・安全)

(第1回変更)

うれしのし
嬉野市

平成31年1月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月30日

計画の名称	嬭野市の新たな玄関口となる新幹線嬭野温泉駅周辺における安全・安心な都市空間の創出（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	嬭野市											
計画の目標	『嬭野市の新たな玄関口となる新幹線嬭野温泉駅周辺における安全・安心な都市空間の創出』 ・新たに整備する新幹線嬭野温泉駅の駅前広場をはじめ、本市の新たな玄関口となる駅周辺市街地の安全・安心な都市空間の創出に向けて、歩行空間のバリアフリー化、安全対策を実施します。 ・本市の新たな玄関口としての交通結節拠点の形成に向けて、利用者の快適性や移動の連続性の確保を図ります。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	626	A	626	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	安全・安心で快適な都市空間の確保に向けて、駅前広場や区画整理事業区域内の歩行空間におけるバリアフリー化率の向上を図る。 地区内都市計画道路（駅前広場を含む）のバリアフリー化率 （バリアフリー化率）=（誘導用ブロックの設置率）	2%	72%	86%
2	交通事故の少ない快適な歩行者空間の確保に向けて、歩道整備延長を進めることで、歩行者の交通環境や地域の防犯対策などの安全性に関する満足度の向上を図る。 住民アンケート調査における嬭野駅周辺地区を対象とした「歩行者の交通環境や地域の防犯対策などの安全性」に関する満足度 （「満足5点」「やや満足4点」「普通3点」「やや不満2点」「不満1点」で算出した時の平均点）	2ポイント	3ポイント	3ポイント

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
満足度調査の従前値は、平成22年の嬭野市都市計画マスタープラン市民アンケート調査の結果で市全体の平均値。目標数値においては、市平均よりも向上する事を目指して設定 平成30年度まではバリアフリー法に基づき重点計画としていたが、平成31年度以降は重点計画の内容変更により対象外												

A 基幹事業

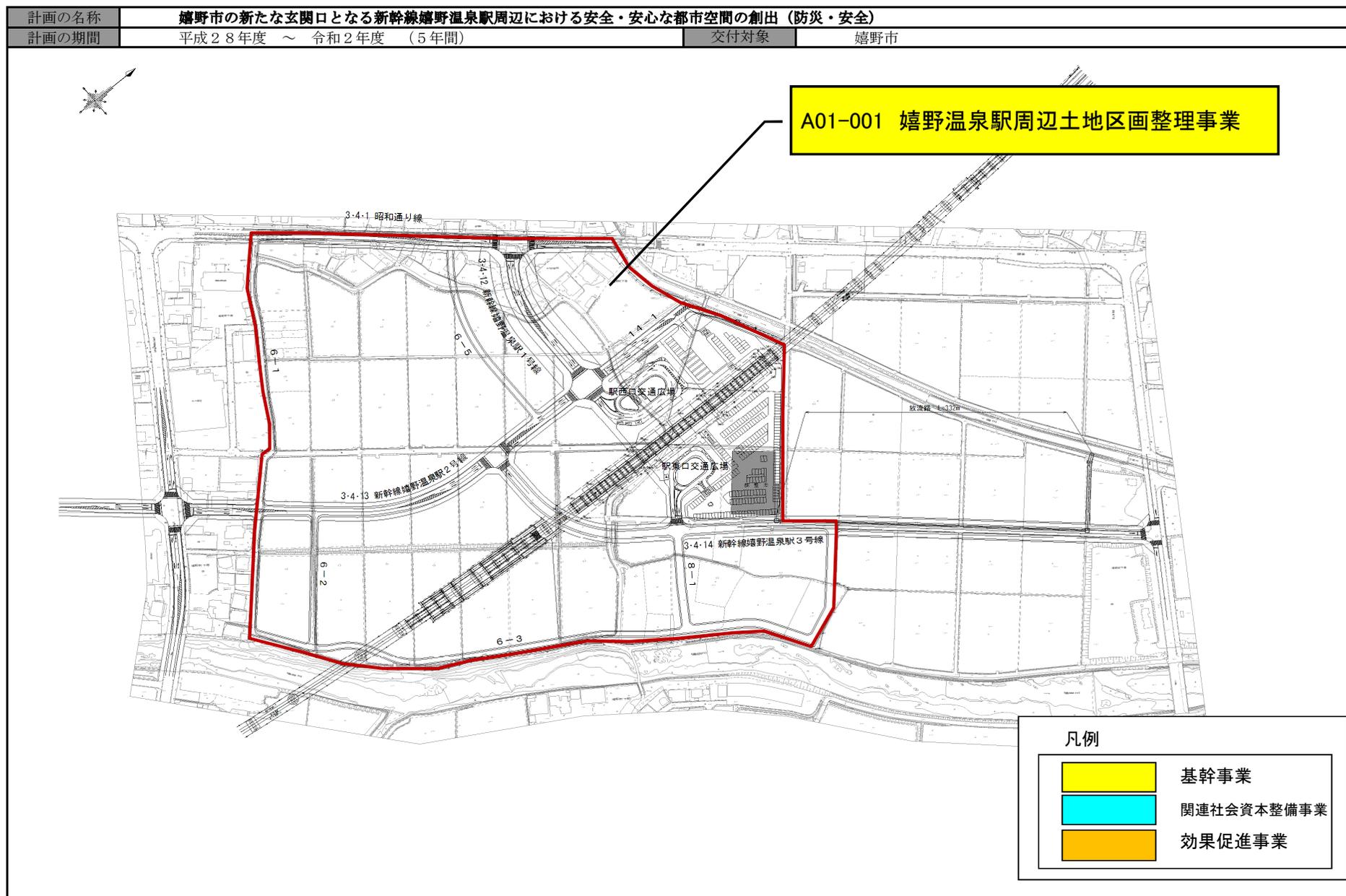
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	区画	改築	嬉野温泉駅周辺地区(都)新幹線嬉野温泉駅1号 線ほか2路線	区画整理 A=14.6ha	嬉野市						626		-	
												小計						626		
											合計						626			

交付金の執行状況 (令和3年4月時点)

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	155	68	46	25	33
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	155	68	46	25	33
前年度からの繰越額 (d)	0	42	17	19	25
支払済額 (e)	113	93	44	19	32
翌年度繰越額 (f)	42	17	19	25	26
うち未契約繰越額 (g)	0	15	0	25	12
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	13.63	0	56.81	20.68
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		先行工事である関連他工事との工程調整に不測の日数を要したため		先行工事である関連他工事との工程調整に不測の日数を要したため	先行工事である関連他工事との工程調整に不測の日数を要したため

(参考図面) 市街地整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 嬉野市の新たな玄関口となる新幹線嬉野温泉駅周辺における安全・安心な都市空間の創出（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込める。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地域の協力が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○